

# 齊正常化

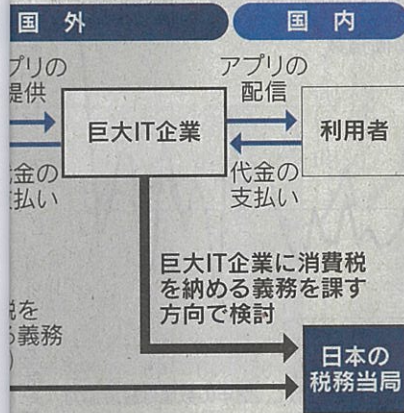
年内初確認3年 **3**



# 今こそ大移動を

柳井正氏のグローバル観 **5**

オンラインゲームなどにかかる  
の徴収を見直す



# 納付逃れ防止狙う

政府はスマートフォンアプリで利用する海外ゲームにかかる消費税の徴収を強化する検討に入った。米アップルやゲーグルなど、取引の間に入るプラットフォームに税を納める義務を課す方向だ。海外のゲーム会社は中小企業も多く、日本のユーザーから預かる消費税が日本の税務当局に納付されないケースがある。国境を越えた徴収の適正化を進める。

# IT大手から徴収へ

# 海外スマホゲームの消費税

## 政府

料金と消費税を払う。この消費税が日本に納められないケースがある。米調査会社センサータワーによると、22年の日本におけるスマホゲームの売上高上位100作品のうち半分程度は海外の

が多く、日本に拠点がない。ユーザーはゲーグルやアップルを通じて利用

政府はアプリストアを運営する巨大IT企業が日本の当局に消費税を納付する義務を負うよう制度を見直す方向だ。欧州では巨大IT企業が消費者にサービスを提供して

いるとみなす課税制度を参考にして、2023年12月、23年度税に、海外ゲームの消費税の徴収を盛り込んだ。巨大IT企業や、実店舗を交えたオンラインゲーム、実店舗を進める。消費税法改訂される。経済協力(ECD)の枠を越えて配分は消費課税と定められた。15年度の消費課税を課す。それまではなかった。電子書籍、IT企業が

# インボイス登録半年延長

## 9月末まで受け付

消費税の税率や税額を  
請求書に正確に記載・保  
存するために10月に導入  
が必要だったが、未登録  
16日の関係省庁会議で  
議決した。正大綱に感  
た。22年12

# 日本経済新聞

1月17日  
火曜日

発行所 日本経済新聞社  
東京本社 ☎(03)3270-0251  
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
大阪本社 ☎(06)7639-7111  
名古屋支社 ☎(052)243-3311  
西部支社 ☎(092)473-3300  
札幌支社 ☎(011)281-3211

情報コミュニケーション&ドキュメンテーション  
高い専門性 揺るぎない信頼  
PRONEXUS  
証券コード 7893  
www.pronexus.co.jp

日経電子版  
https://www.nikkei.com/  
新聞購読のお申し込み  
https://www.nikkei4946.com/  
ご購読・お問い合わせ  
☎0120-21-4946(7:00-21:00)  
https://www.nikkei.com/faq/

23年度税に、海外ゲームの消費税の徴収を盛り込んだ。巨大IT企業や、実店舗を交えたオンラインゲーム、実店舗を進める。消費税法改訂される。経済協力(ECD)の枠を越えて配分は消費課税と定められた。15年度の消費課税を課す。それまではなかった。電子書籍、IT企業が

# 観光 新潮流

⑤

空き家や空き店舗を宿泊施設にリノベーションし、まちをまるごとホテルのように見立てる取り組みが静岡県内で広がっている。遊休不動産の活用はもちろん、市場や

商店での買い出しや飲食などから地域でのより深い体験や消費にもつながる。住民の日常は旅行者にとっては非日常。二拠点居住や移住のきっかけになる可能性もある。

静岡市の西南端にある用宗(もちむね)地区。寂れていた港町が、新型コロナウイルス禍のさなかにも県内からの来訪客でにぎわいを保つ観光地へ様変わりした。原動力は、2017年7月に3棟で始まった一棟貸しの古民家風宿泊施設「日本色」。21年までに家屋改装のほか新築を含めて8棟に増え、23年中には2

## 空き家・店舗リノベ

### 静岡市用宗、コロナでも活気

棟加わり計10棟となる予定だ。用宗には山が海のそばまで迫る景観や、漁港の周りに路地が走りかつての漁師の住まいや仕事場が点在する独特の町並みがある。15年ほど前から住むCSA不動産(静岡市)の小島孝仁社長が「観光資源になり得る」と着想。静岡駅からJR線で2駅と抜群の交通の便も生かし16年に観光子会社を設立、静岡鉄道などの出資も得て立ち上げた。先行していた兵庫県丹波篠山市の事例も参考に、家屋改装では古民家風ながら快適な室内設備

を充実させて差異化。食事では町の商店で買った干物などを囲炉裏であぶったり、近所の主婦らが作る朝ごはんを味わったりできる。各棟2〜8人で定員いっぱいなら1人が1万円泊まれるため、すぐに人気となった。秋冬も稼働率は6割前後を保つ。

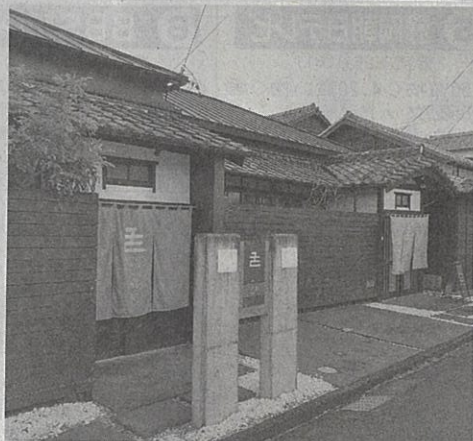
従来インバウンド(訪日外国人)が15%ほどを占め東京などからの来訪が多かったが、コロナ禍では近場旅行を楽しむ県内客に支えられた。小島氏は用宗で日帰り温泉なども開発する傍ら、静岡中心街で空き物件を宿泊施設に改装した「ヒル泊」を20年に始め順次拡大。「魅力ある宿は街に世界から人を呼べる」と全国展開も見据える。

熱海市では地元の民間まちづくり会社、mac himori(マチモリ)が15年から熱海銀座や周辺エリアでリノベーション宿泊施設を展開する。まず10年間空き店舗になっていたビルをゲストハウスに改装し、次いで路地裏の映画館跡が残るビルにホテルを開業。22年12月には1週間ほどの長めの滞在にも対応する施設の本格営業を始め

た。マチモリの市来広一郎代表は「中心市街地再生の観点からの取り組み」と話す。熱海に多い観光ホテルは食事も買い物も館内で完結し、街へ人が出ない。そこで街の真ん中にゲストハウス「MARUYA(マルヤ)」を設け、街なかで飲食してもらおうことに。1泊約4000円からのカフェスタイルで、20〜30代前半の若者やインバウンドを狙った。2カ所目のホステルは30代後半や40代向けに同8000円から個室を提供。3カ所目は広めのカフェとワーケーションに対応した個室を組み合わせた同一万円から、LIFULL(ライフール)などの定額多拠点居住サービスとも提携する。街に観光消費を呼び込みつつ「観光と定住の間の滞在」を促し、住民も使えるシェアスペースの整備につなげる。

コロナ禍で一時は稼働が落ちたが、今は外国人も含め利用客が戻りつつある。マチモリに影響を受け同様の施設を立ち上げる動きも増え、東伊豆町の稲取で20年に創業した一棟貸しの「湊庵(そうあん)」は22年に計3棟まで拡大。「地方での暮らしやまちづくりに関心が高い人が楽しんでくれている」(運営会社の荒武優希代表)という。

# 港町まるごとホテルに



路地沿いの家屋を古民家風宿泊施設にリノベーション(写真上、静岡市)。ゲストハウスには朝ごはんや飲食、時に物販も提供する共有スペースを併設(熱海市)



を充実させて差異化。食事では町の商店で買った干物などを囲炉裏であぶったり、近所の主婦らが作る朝ごはんを味わったりできる。各棟2〜8人で定員いっぱいなら1人が1万円泊まれるため、すぐに人気となった。秋冬も稼働率は6割前後を保つ。

従来インバウンド(訪日外国人)が15%ほどを占め東京などからの来訪が多かったが、コロナ禍では近場旅行を楽しむ県内客に支えられた。小島氏は用宗で日帰り温泉なども開発する傍ら、静岡中心街で空き物件を宿泊施設に改装した「ヒル泊」を20年に始め順次拡大。「魅力ある宿は街に世界から人を呼べる」と全国展開も見据える。

熱海市では地元の民間まちづくり会社、mac himori(マチモリ)が15年から熱海銀座や周辺エリアでリノベーション宿泊施設を展開する。まず10年間空き店舗になっていたビルをゲストハウスに改装し、次いで路地裏の映画館跡が残るビルにホテルを開業。22年12月には1週間ほどの長めの滞在にも対応する施設の本格営業を始め

た。マチモリの市来広一郎代表は「中心市街地再生の観点からの取り組み」と話す。熱海に多い観光ホテルは食事も買い物も館内で完結し、街へ人が出ない。そこで街の真ん中にゲストハウス「MARUYA(マルヤ)」を設け、街なかで飲食してもらおうことに。1泊約4000円からのカフェスタイルで、20〜30代前半の若者やインバウンドを狙った。2カ所目のホステルは30代後半や40代向けに同8000円から個室を提供。3カ所目は広めのカフェとワーケーションに対応した個室を組み合わせた同一万円から、LIFULL(ライフール)などの定額多拠点居住サービスとも提携する。街に観光消費を呼び込みつつ「観光と定住の間の滞在」を促し、住民も使えるシェアスペースの整備につなげる。

コロナ禍で一時は稼働が落ちたが、今は外国人も含め利用客が戻りつつある。マチモリに影響を受け同様の施設を立ち上げる動きも増え、東伊豆町の稲取で20年に創業した一棟貸しの「湊庵(そうあん)」は22年に計3棟まで拡大。「地方での暮らしやまちづくりに関心が高い人が楽しんでくれている」(運営会社の荒武優希代表)という。

## 余ったイチゴでワイン

### 磐田市が商品化 首都圏で好評

静岡県磐田市が、市内産の余った過熟イチゴの活用を力を入れている。市のビジネスマッチングを通じ、出荷できずに冷凍保存された「紅(べにほっぺ)」など4種類のイチゴを使ったワインを商品化。首都圏のレストランで好評となった。市は2023年も製造したいと考えて、今後は磐市内での販売も模索する。

国内最大級のハウスでイチゴを栽培する、いちご空中農園いわた(同市)で余剰となったイチゴを使い「rinato(リンナト)」という

「観光と定住の間の滞在」を促し、住民も使えるシェアスペースの整備につなげる。

コロナ禍で一時は稼働が落ちたが、今は外国人も含め利用客が戻りつつある。マチモリに影響を受け同様の施設を立ち上げる動きも増え、東伊豆町の稲取で20年に創業した一棟貸しの「湊庵(そうあん)」は22年に計3棟まで拡大。「地方での暮らしやまちづくりに関心が高い人が楽しんでくれている」(運営会社の荒武優希代表)という。

続々

ラッピング電車は7日に出発式を行った(浜松市)

訪ね、